



ライティングマラソン 2011

～100万を超えるアクションが世界を動かします



ライティングマラソンに参加した全ての方に朗報です。手紙や携帯メール、署名などいろいろなかたちでアムネスティの人権を尊重し守ることを求めてきた運動は、80か国以上に広がってきています。皆さんが、どのようにライティングマラソンに加わったかを広めてくださることで、このアクションもさらに増えていくでしょう。下記のURLで全世界のアクションをチェックしてみてください。

<http://www.amnesty.org/en/individuals-at-risk>

さて、世界中で行われた素晴らしいイベントのいくつかをご紹介します。

カナダでは、12月10日にナイアガラの滝が黄色いイルミネーションで飾られました。アムネスティの支持者たちは、危険にさらされている人びとを象徴するランタンを持って、滝の前に集まりました。

クロアチアでは、人権に関する映画祭が開かれ、ライティングマラソンで取り上げられている人びとのビデオが上映され、その後、彼らのために参加者が手紙を送りました。

オーストリアのウィーンでは、人権を侵される危機にある人びとの写真がミハエル広場に投影されました。

ガーナの首都アクラでは、ライティングマラソンで取り上げられている一人の写真が、アクラの中心部にあるクワメンクルマー広場に投影されました。

プエルトリコにある2軒のカフェでは「事件メニュー」がテーブルに置かれ、お客さんが注文したコーヒーを待つ間にウェイターがライティングマラソンに参加するよう声掛けをしました。

スペインでは、地元のグループが50か所を超える地域で

24時間のライティングマラソンを企画しました。

現在、全体のアクション数の合計は129万を超えましたが、この数はまだ増えつつあります。2012年明けの早い段階には最終的な合計アクション数やアクション後の反響をお伝えする予定です。

活動終了となったケース

メキシコ アレヤンドロ・ソラリンド・ゲラ神父

メキシコへの移民をサポートしているソラリンド神父は、移民のグアテマラ人を庇護したために、地方当局による不当な逮捕や、ギャングから嫌がらせを受けていました。

現在、このケースは沈静化しているため、活動は一旦終了しましたが、状況が悪化した場合には再開し、担当セクションに情報提供する予定です。しかし、希望する方は神父へメッセージを送ることはできます。

米国 ジョーダン・ブラウン君

殺人の罪に問われている13歳のジョーダン君の審理は、キャンペーンの結果、成人の裁判所ではなく少年裁判所に移管されました。アムネスティでは、この件に関する詳細な説明をジョーダン君の弁護士から受けました。

「ジョーダン君は、アムネスティのキャンペーンの結果、世界中の大人や子どもからの手紙を頻繁に受け取るようになりました。多くの人びとが、ジョーダン君の誕生日に、彼のために祈り、一人ではないのだと励ましてくれました。手紙やカードはヨーロッパから多く送られてきましたが、アフリカや南アメリカからのものもあり、世界中の人が自分のことを気にしてくれていることに、彼はとても驚いています。特に子どもたちからの手紙にはとても勇気づけられています。ジョーダン君は、自分のような辛い状況の子どものために立ち上がる人びとがいることを知ったのです。」

UA ニュース

発行:アムネスティ・インターナショナル日本
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル7F
TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778
E-mail:uaoffice@amnesty.or.jp

UA年会費 3000円
郵便振替 00120-9-133251
加入者名 社団法人アムネスティ・インターナショナル日本